

【国語科授業づくり】

読むこと(古典編)

- ①指導事項の焦点化
- ②国語科の「言語活動」
- ③交流、共有
- ④ICT活用

令和5年9月
日田教育事務所 指導課

①指導事項の焦点化

育成を目指す
資質・能力(言語能力/
指導事項)の絞込み

- ・年間指導計画の確認
- ・指導事項系統表の確認

①見取る

- ・その育成を目指す資質・能力に関する生徒の実態

①教師の指導の立場からの分析

- ・その実態の要因は何か、教師の指導という視点から分析できているか。

②見通す

- ・この単元で子どもたちに「育成を目指す資質・能力」は何か明確にする。

②領域の絞り込み

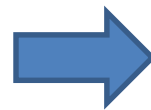
- ・指導する領域を定め、当該学年の指導事項を確認する。

「話す 聞く」、「書く」、「読む」の3領域の中から、できるだけ1領域に絞る。

※古典の指導も 3領域のいずれかを通して行う。

①指導事項の焦点化

育成を目指す資質・能力
(指導事項)の絞込み



・年間指導計画の確認
・指導事項系統表の確認

- この単元で子どもたちに「育成を目指す資質・能力」は何か明確にする。
- 「育成を目指す資質・能力」は言語活動を通して指導する。
 - ・「育成を目指す資質・能力」にぴったりの「言語活動」「教材」を設定する。

「育成を目指す資質・能力」

- ◆「話聞」「書」「読」のいずれかから選んだ能力
- ◆「知識及び技能」から選んだ能力



密接に関連していることが大切です。

①指導事項（付けたい力）から授業構想

■指導事項の絞り込み

- ・指導する領域を定め、当該学年の指導事項を確認する。

【中学校2年：読むこと】

イ（目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、）登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること

【中学校2年：伝国】 （取り上げた領域の指導を通して、指導する。）

ア 作品の特徴などを生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと



■指導事項と関連付けて「単元設定の理由」をまとめる。

- ①生徒について…イ、(ア)の能力系統から
- ②教材について…イ、(ア)を実現しやすい特徴
- ③指導について…イ、(ア)を実現するための手立て

■指導事項が学習評価の対象である。

②国語科の言語活動

A,B,Cの整合性！【例】

これらの指導事項を指導する場面が、単元の中に繰り返し現れる。

A 指導事項(付けたい力)

【中学校2年：C 読むこと】

イ (目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、)登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること

【中学校2年：知識及び技能 (3)】

ア 作品の特徴などを生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと
(Cイを通して)

C 教材(題材)の特質

○『平家物語』(古典)

- ・栄枯盛衰、無常観
- ・平曲(琵琶法師の語り)
- ・会話を生かした文章、和漢混淆文
- ・独特の調子(リズム)
 - ・登場人物の言葉や行動が話の展開にどのように関わっているか考えやすい
- ・黙読よりも音読に適している

B 言語活動

・古文を読んで、考えたことなどを伝え合う活動

【群読に取り組む】

- ・台本を作りを通して
- ・群読を通して

可視化の工夫【言語活動ツール】

言語活動を通して、資質・能力を育成する。

単元全体を通して、学習のゴールを生徒に意識させながら、それに向かって、知識・技能を使って、思考・判断・表現する活動

※1 単元の始まりから、言語活動はスタートしている。

課題
設定

言語活動

古典の物語を読み、考えたことを伝え合う活動
【群読で発信！800年前の『平家物語』を】

課題
解決

・教師のモデルから、単元のゴールイメージをつかむ。
・これから読む物語、どういう展開？どう人物？

構造と内容の把握 精査・解釈 考えの形成 共有
【繰り返し、古文原文を読む(音読)。】

考えの形成
共有

■『平家物語』の概要をつかむ。
■いくつかの場面の中から、群読に取り組みたい場面を選ぶ。

■群読台本を作成する。
・登場人物の言動の意味を物語の展開と関連付けて考え、台本作成に生かす。
・何度も音読(群読)を試行しながら、台本を修正する。
(ICT活用 録画・確認・修正～納得のいくまで、繰り返し)
■中間発表、DVD収録に取り組む。
・中間発表での批正をもとに、台本を完成させる。
・群読の様子をDVDに収録する。

・単元を振り返り、「源氏物語」の魅力について考えをまとめ、伝え合う。
(場面展開、登場人物の人物像、描写など)
※DVD視聴者からのフィードバックも参考にする。

※2 「読むこと イ」、「伝国 ア」の指導場面が繰り返し現れる。

グループ学習を有意義にするためには？



1) グループ学習のねらいを明らかにする

(例) 思考を広げる (深める) ために…
新しい考えを作り上げるために…

2) グループ学習だからこそ効果が上がる必然性

(例) 自分との意見を対比させることで思考が深まる
多面的な思考を引き出す必要がある

3) グループ学習を生かして全体の学びを深める

(例) グループ毎の考えを比較・分類し、ねらいに迫る

※ 個の学びの深まり、広がりにつながったか

④ 学習道具としてのICT

どのような学習機能があるか？



1) 即時に多様な情報を俯瞰(時空の限定がなくなる)

(例) 思考を広げる(深める)ために…
新しい考えを作り上げるために…

2) 自分のペースで分析・分類・整理

(例) 繰り返し何度でも確認できる
試行錯誤が容易

3) 記録・保存

(例) 大容量、鮮明、並べ替え、整理が容易

※ 個の学びの深まり、広がりにつながったか